

2012年11月8日

2013年3月期 第2四半期 (第40期) 決算IR説明会

株式会社メイテック

〒107-0052

東京都港区赤坂 8-5-26 赤坂DSビル

TEL 03-5413-2600 FAX 03-5413-2622

URL : <http://www.meitec.co.jp>

I .連結業績の概況

<業績【連結】：2013年3月期 第2四半期累計>

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当四半期純利益	
第2四半期 累計	連結	実績	34,130	2,891	2,945	1,692
		前期実績	31,937	2,328	2,350	1,295
		対前期比増減率	6.9%	24.2%	25.3%	30.6%
	単体	実績	27,125	2,460	2,739	1,593
		前期実績	25,256	1,944	2,262	1,356
		対前期比増減率	7.4%	26.5%	21.1%	17.5%

<参考/業績予想>

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年5月10日 期初予想	連結	33,200	2,100	2,100	1,200
	単体	26,400	1,800	2,100	1,300
2012年9月25日 業績予想修正	連結	33,900	2,750	2,800	1,500
	単体	27,000	2,350	2,650	1,400

2

<市況の概況：2013年3月期 第2四半期累計>

1. メイテックグループの主要顧客である製造業全体の状況

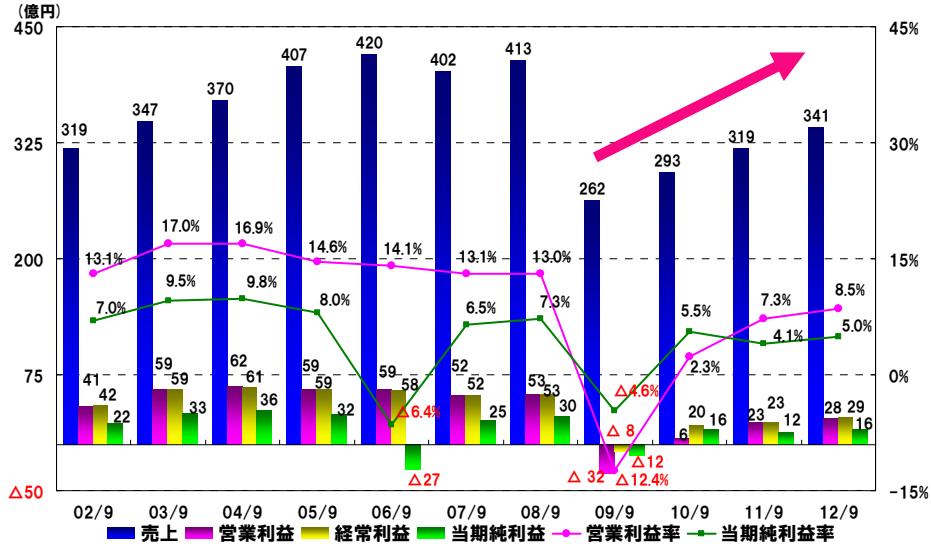
- ・ 欧州経済問題をはじめとする世界経済の失速懸念、円高の継続など、景況の不透明感が高い状態が継続しているが、当社の主要顧客である日本の大手製造業各社においては、技術開発投資を継続される企業が多かった。
- ・ また、国内の電力不足問題は解消されていないが、前期のように、残業規制や操業日のシフト(休日変更)等を実施する企業は少なかった。
- ・ しかしながら、急速な円高等によって、大規模な技術開発投資をはじめ、コストを抑制する動向は、依然として強い。

2. 本業(技術者派遣事業)の概況

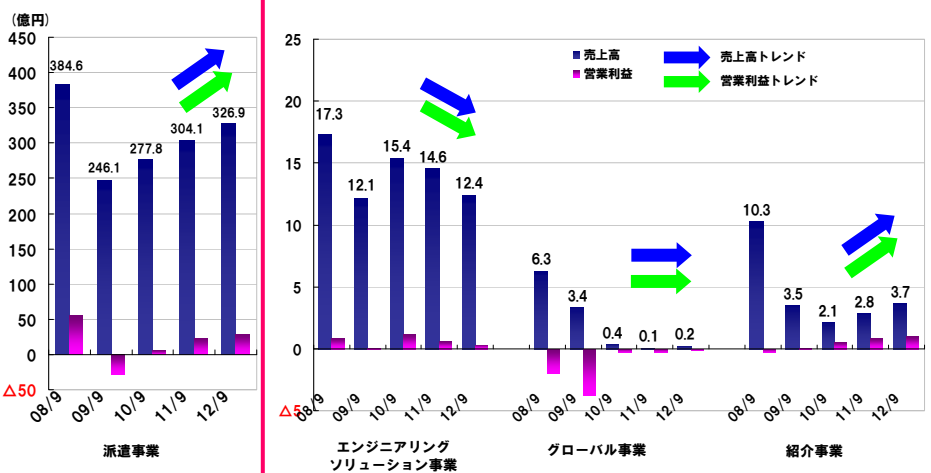
- ・ 顧客企業の多くが技術開発投資を継続されていることから、前期に引き続き、堅調に成約を進めることができた。
*2012年4月入社エンジニア(MT220名、MF169名)の配属完了
- ・ ただし、コストを統制する動向が強くなっていることから、想定以上に、契約の終了も発生した。

3

<業績推移【連結】：2013年3月期 第2四半期累計>



<メイテックグループの4事業：2013年3月期 第2四半期累計>



<グループ各社実績：2013年3月期 第2四半期累計>

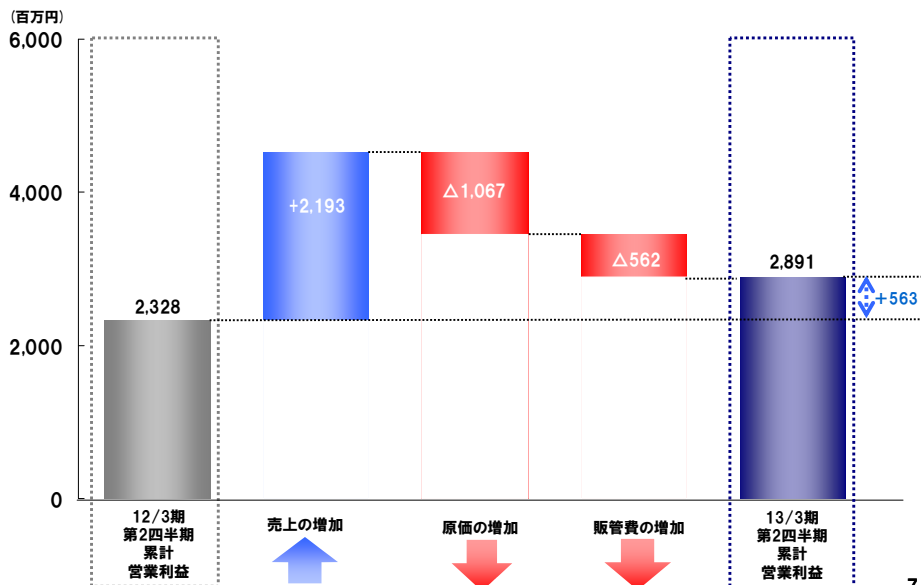
(単位：百万円)

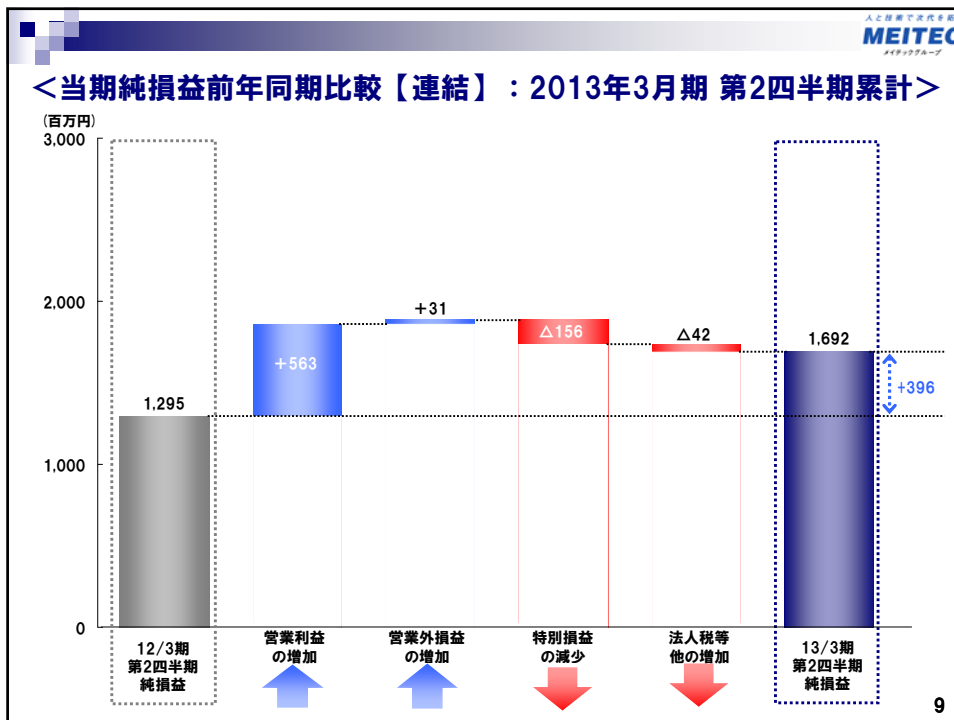
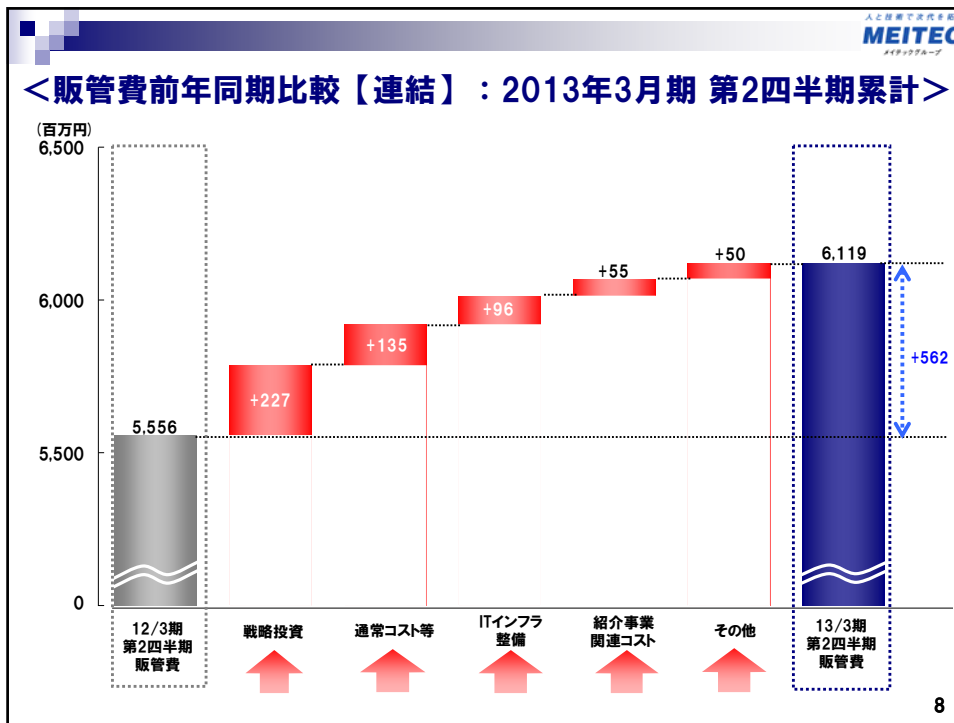
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
派遣事業	メイテック	27,125	2,460	2,739	1,593
	メイテックフィルダース	4,513	269	270	167
	メイテックキャスト	1,203	44	45	28
E/S事業(※1)	メイテックCAE	513	71	71	43
	アポロ技研グループ	733	△36	△34	△1
グローバル事業	メイテック上海 他3社*	23	△28	△28	△28
紹介事業	メイテックネクスト	368	121	121	112
	all engineer.jp	4	△11	△10	△10
連結(※2)		34,130	2,891	2,945	1,692

※1 E/S事業：エンジニアリングソリューション事業
※2 連結消去調整後

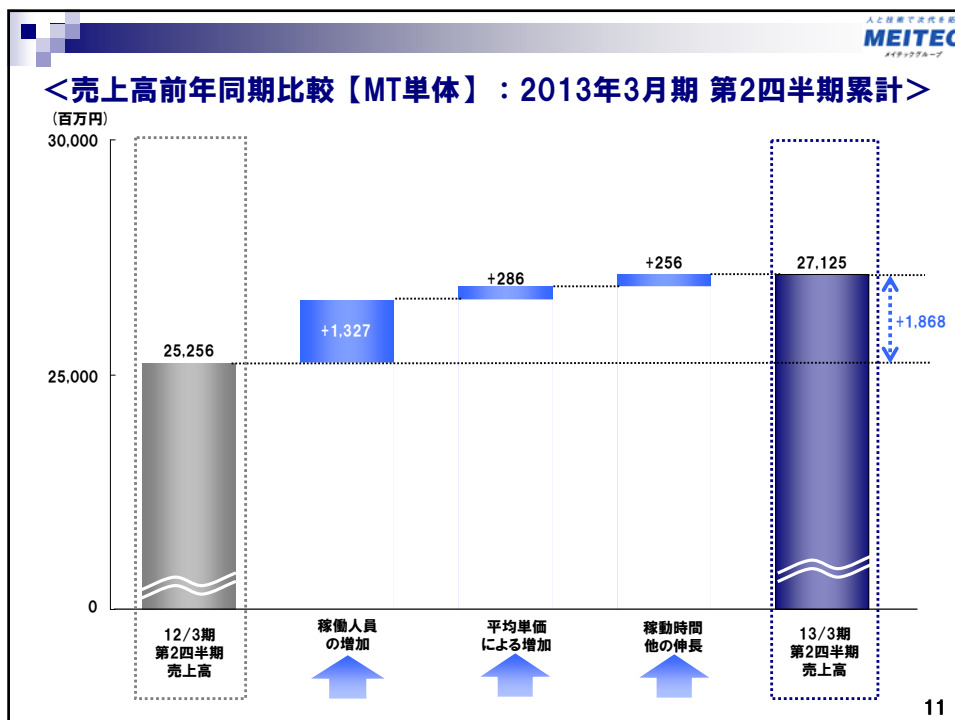
*グローバル事業は、メイテック上海・メイテック西安・メイテック成都・メイテック上海人才の4社合計です。

<営業損益前年同期比較【連結】：2013年3月期 第2四半期累計>

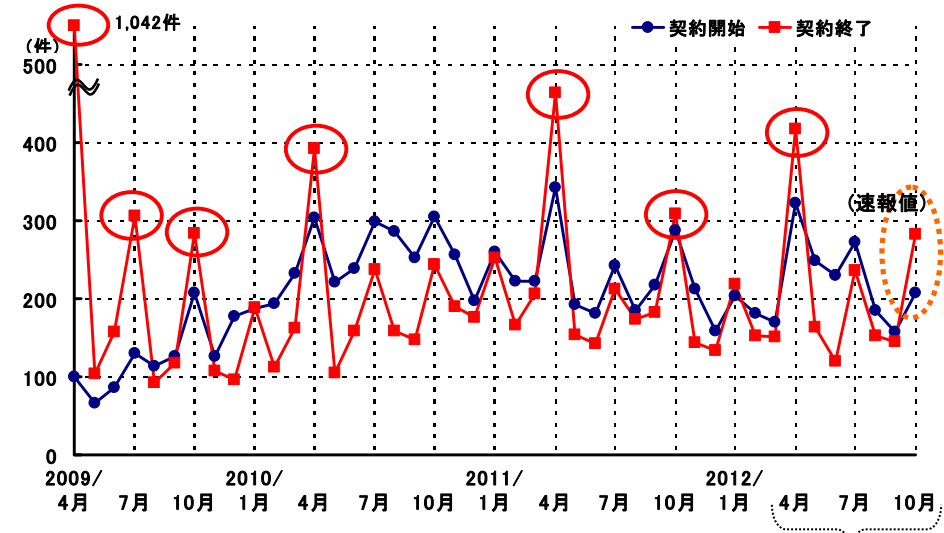




Ⅱ.単体業績の概況

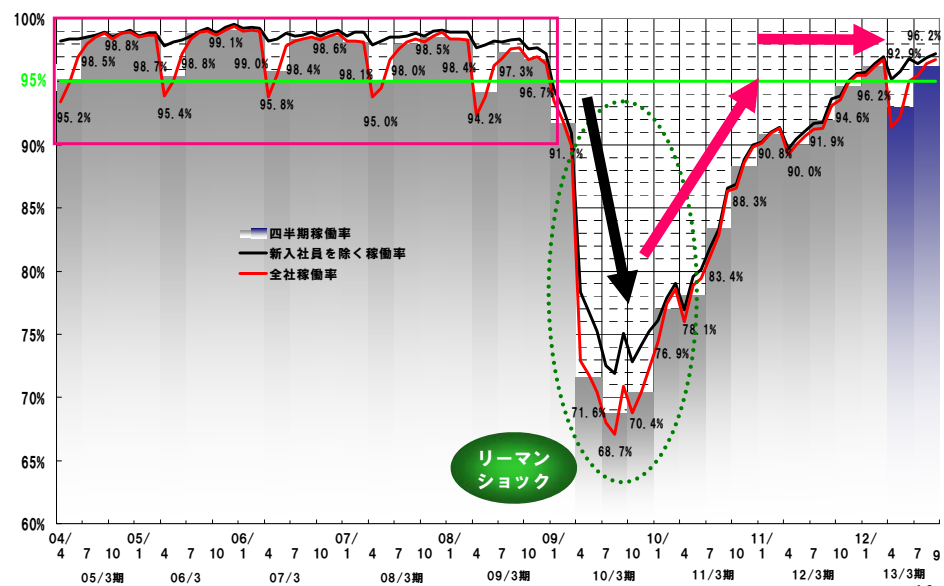


< 契約実績推移【MT単体】 : 2009/4月~2012/10月 >

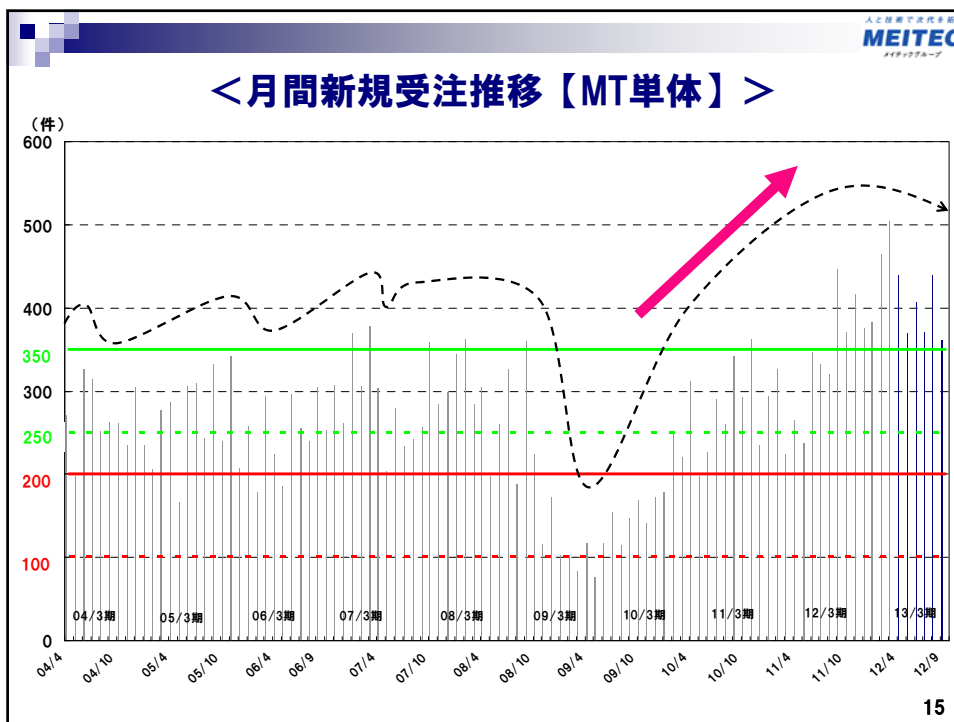
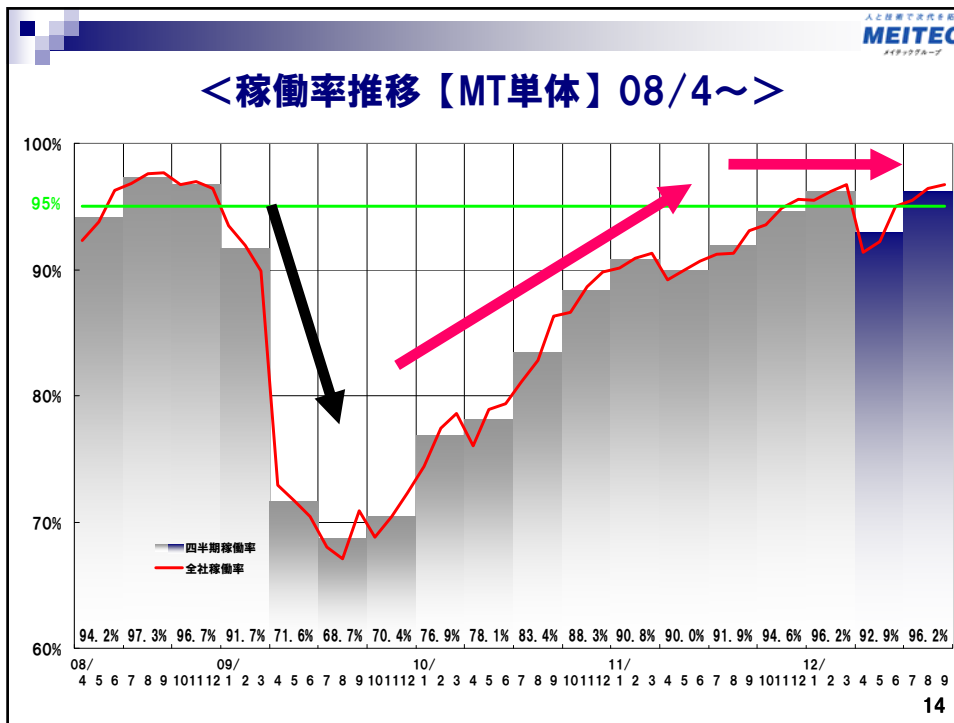


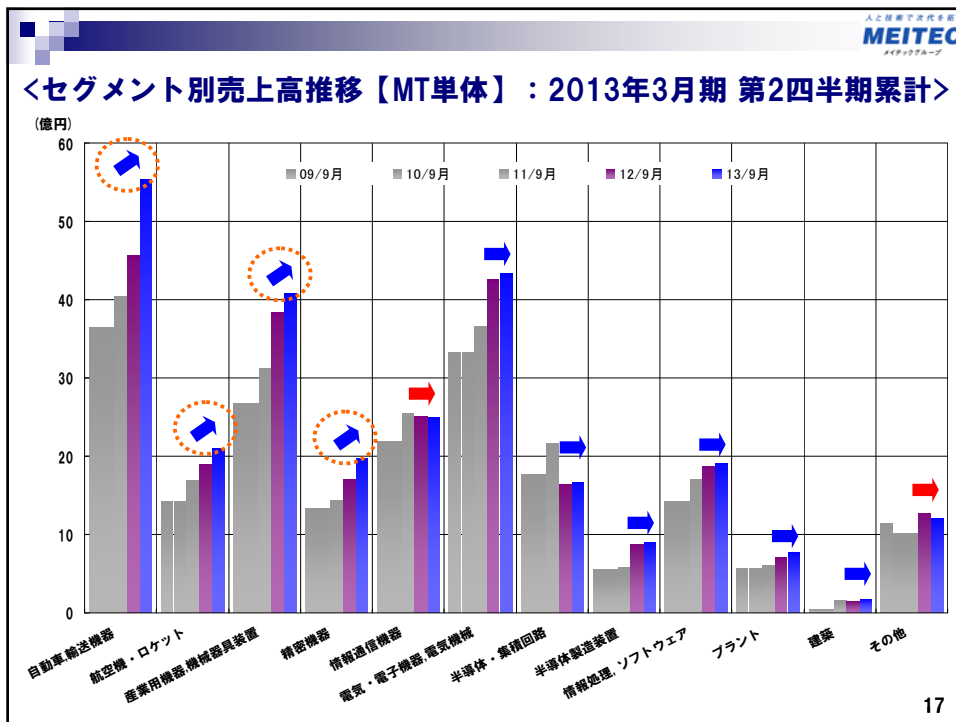
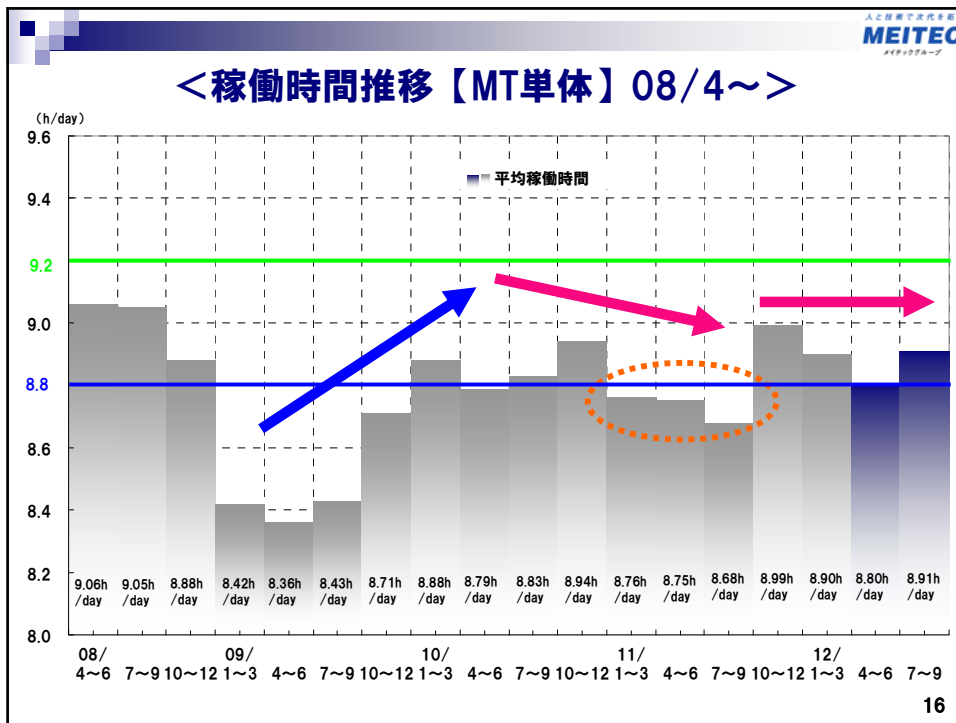
※新卒含む 12

< 稼働率推移【MT単体】 >



13





Ⅲ. 業績予想

<下期の想定>

1. 製造業各社の 技術開発投資が、上期なみに持続する。
2. しかしながら、コストを統制する動向が、継続的に強くなっていることから、契約終了数は、期初予想よりも多くなる。
(MT・MF)
3. キャリア採用数の修正目標(P21参照)を達成する。
(MT・MF)

【未確定要件】

顧客企業の多くが、通期業績予想を下方修正されていることが、今後の受注等にどの程度影響してくるかは未確定

<業績予想：2013年3月期>

(単位：百万円)		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	通期	70,300	6,000	6,100	5,800
	前期実績	66,955	5,450	5,531	2,827
	対前期比増減率	5.0%	10.1%	10.3%	105.1%
単体	通期	55,800	5,200	5,500	5,900
	前期実績	53,188	4,613	4,988	2,590
	対前期比増減率	4.9%	12.7%	10.3%	127.8%
(単位：百万円)		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年5月10日 期初予想	連結	69,500	5,500	5,500	5,500
	単体	55,200	4,700	5,000	5,700

<業績予想の前提条件【MT+MF】：2013年3月期>

			MT	MF
稼働率	通期	期初予想	94.8%	89.9%
		修正予想	95.4% (+)	92.5% (+)
	上半期	期初予想	92.9%	86.5%
		実績	94.5% (+)	91.1% (+)
	下半期	期初予想	96.5%	93.2%
		修正予想	96.2% (Δ)	94.0% (+)
稼働時間	通期	期初予想	8.81h/day	8.85h/day
		修正予想	8.89h/day (+)	8.92h/day (+)
	上半期	期初予想	8.69h/day	8.72h/day
		実績	8.86h/day (+)	8.87h/day (+)
	下半期	期初予想	8.93h/day	8.97h/day
		修正予想	8.93h/day (-)	8.97h/day (-)
中途採用	期初予想	240名	180名	
	修正予想	240名 (-)	125名 (Δ)	

<2013年新卒採用の状況（参考）>

		MT	MF	合計
新卒採用 (2013年4月1日入社見込み)	期初予想	400名	150名	550名
	予定	385名	165名	550名

<グループ各社予想：2013年3月期通期>

(単位：百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	
通期	派遣事業	メイテック	55,800	5,200	5,500	5,900
		メイテックフィルダース	9,100	520	520	320
		メイテックキャスト	2,400	70	70	40
	E/S事業	メイテックCAE	1,100	130	130	80
		アポロ技研グループ	1,600	△ 5	△ 5	20
	グローバル事業	メイテック上海 他3社*	65	△ 60	△ 60	△ 60
	紹介事業	メイテックネクスト	760	210	210	190
		all engineer.jp	10	△ 50	△ 50	△ 50

*グローバル事業は、メイテック上海・メイテック西安・メイテック成都・メイテック上海人材の4社合計です。

<子会社 (BMOA社) 解散に伴う業績への影響見込み>

2013年3月期の業績予想

(単位:億円)	連結	単体
経常利益	61	55
減損損失等	△3	△3
子会社解散影響		+4.5
税引前当期純利益	58	57
税金等費用	△0	+3
通常の費用など	△22	△19
子会社解散影響	+22	+22
当期純利益	58	59

- 子会社(BMOA社)解散に伴う連結業績への影響額は、期初予想通り、約22億円の税金費用減少を見込んでいます。
- 単体業績への影響額は、上記の税金費用の減少に加えて、子会社清算益約4.5億円を見込んでいます。

IV. 株主還元について

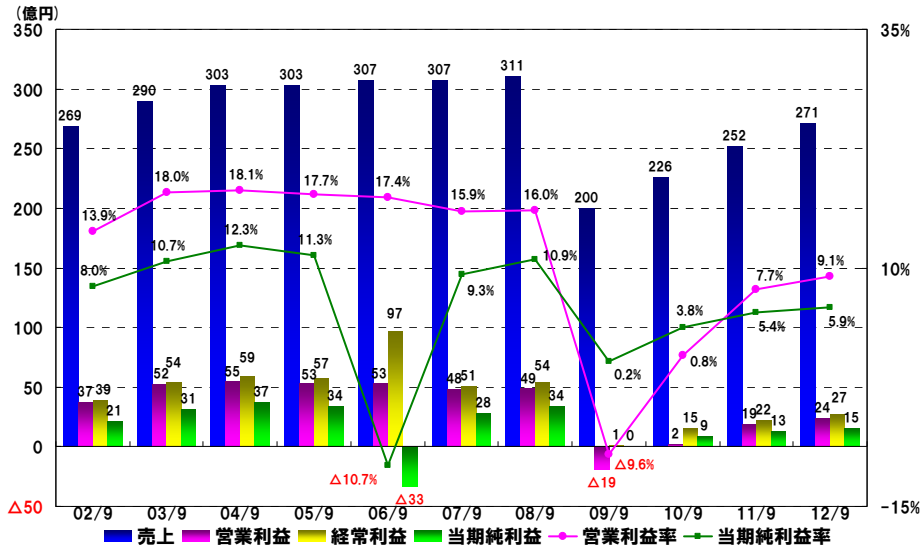
<配当予想：2013年3月期>

(基準日)	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
前期実績 (2012年3月期)		29円00銭		29円50銭	58円50銭
当期予想 (2013年3月期)		30円00銭		66円00銭	96円00銭

- 業績予想を踏まえ、利益配分の基本方針に従い計算しています
- 配当予想は、中間配当金を連結株主資本配当率(DOE)5%相当額の30円、[※]期末配当金を下半期の純利益の配当性向50%相当額の66円、年間配当金は96円(前期比37円50銭の増配)の予想値としました。配当金総額は約30億円を見込んでいます
※ 当期純利益(業績予想値)の50% < 株主資本配当率(DOE)の5%
- 自己株式の取得は、総還元性向100%[※]以内の原則に従い28億円を予定しています
※ 総還元性向100% = (配当金総額見込30億円 + 自己株式取得予定額28億円) ÷ 連結当期純利益予想58億円

人と技術で次代を拓く
MEITEC
メイテックグループ

<業績推移【MT単体】：2013年3月期 第2四半期累計>



参考資料-1

<本業【技術者派遣事業】の概況：2013年3月期 第2四半期累計>

		実績	MT+MF+CAE	MT+MF	MT	MF	CAE
第2四半期累計	稼働率(全体)	実績	-	93.9%	94.5%	91.1%	-
		前期実績	-	91.5%	90.9%	94.4%	-
	稼働時間	実績	-	-	8.86h/day	8.87h/day	-
		前期実績	-	-	8.72h/day	8.70h/day	-
	期末技術社員数	実績	6,976人	6,896人	5,586人	1,310人	80人
		前期実績	6,750人	6,668人	5,498人	1,170人	82人

参考資料-2

<セグメント別売上高推移【MT単体】：2013年3月期 第2四半期累計>

(単位:百万円)

セグメント名	2009年 3月期 第2四半期	2010年 3月期 第2四半期	2011年 3月期 第2四半期	2012年 3月期 第2四半期	2013年3月期第2四半期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車・輸送機器関連(航空機を除く)	6,357	3,650	4,046	4,562	5,529	20.4%	+966	+21.2%
航空機・ロケット関連	1,484	1,427	1,685	1,893	2,099	7.7%	+205	+10.8%
産業用機器、機械器具および装置関連	4,135	2,671	3,126	3,834	4,081	15.0%	+246	+6.4%
精密機器関連	1,670	1,342	1,430	1,697	1,977	7.3%	+280	+16.5%
情報通信機器関連	3,320	2,188	2,544	2,504	2,492	9.2%	△ 11	△0.5%
電気・電子機器、電気機械器具設計	5,029	3,322	3,661	4,268	4,335	16.0%	+67	+1.6%
半導体・集積回路関連	4,248	1,775	2,167	1,632	1,658	6.1%	+25	+1.6%
半導体製造装置関連	1,474	549	574	875	908	3.4%	+33	+3.8%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	1,665	1,418	1,700	1,862	1,900	7.0%	+37	+2.0%
プラント関連	577	564	598	705	769	2.8%	+63	+9.0%
建築関連	97	45	157	141	172	0.6%	+31	+22.0%
その他	1,103	1,142	1,006	1,277	1,199	4.4%	△ 77	△6.1%
合計	31,163	20,097	22,698	25,256	27,125	100.0%	+1,868	+7.4%

参考資料-3

<トップ10顧客売上高・比率推移【MT単体】：2013年3月期 第2四半期累計>

<5年前>

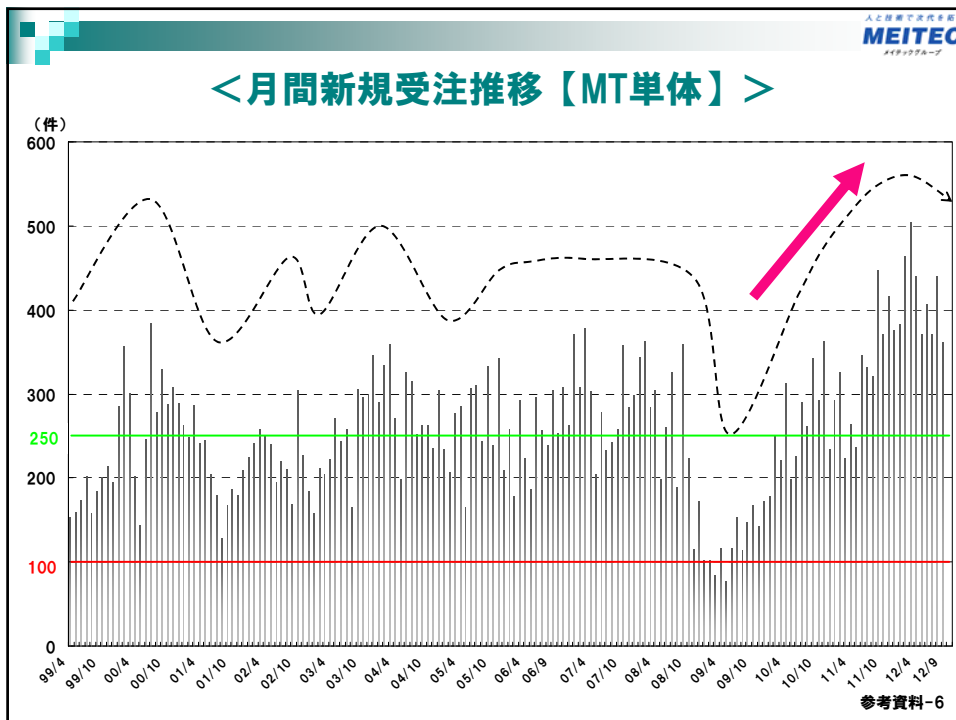
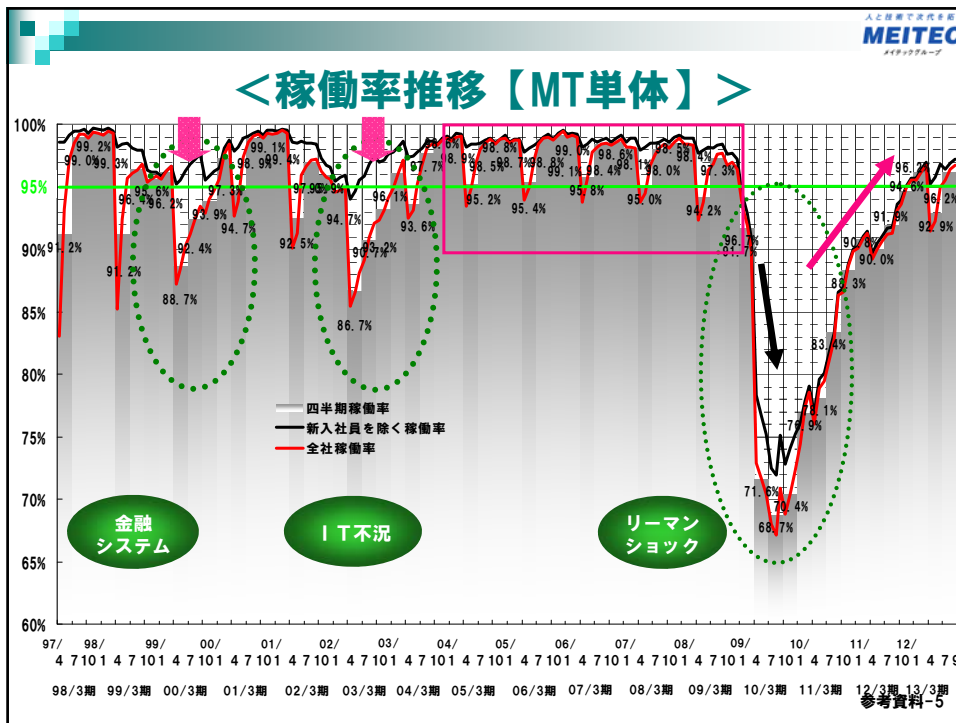
<現在>

(単位:百万円)

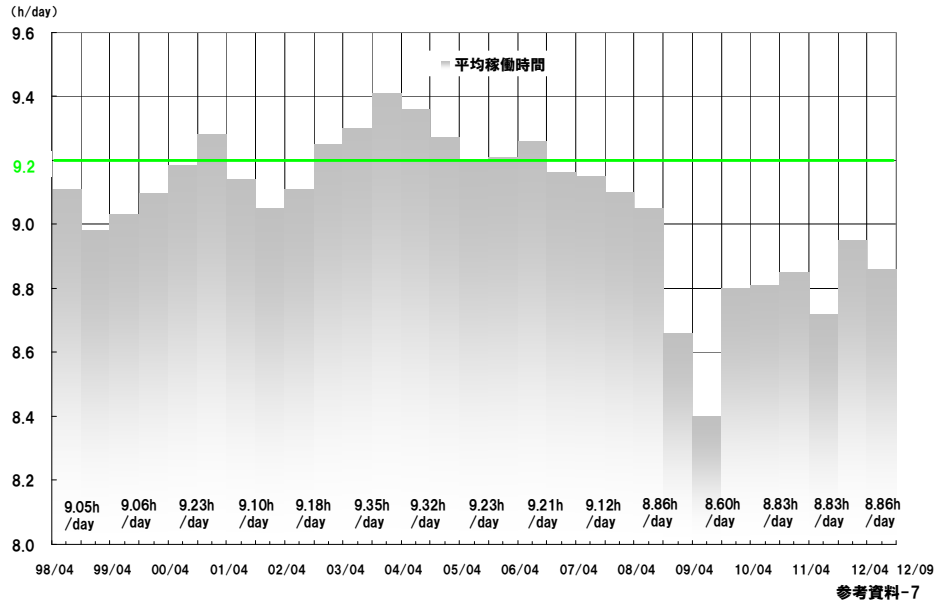
※2008年3月期 第2四半期(35期)		2012年3月期 第2四半期(39期)		2013年3月期 第2四半期(40期)	
顧客企業名		顧客企業名		顧客企業名	
1 パナソニック 様		1 三菱重工業 様		1 三菱重工業 様	
2 キヤノン 様		2 パナソニック 様		2 パナソニック 様	
3 ソニー 様		3 ニコン 様		3 ニコン 様	
4 三菱重工業 様		4 キヤノン 様		4 キヤノン 様	
5 オムロン 様		5 デンソー 様		5 デンソー 様	
6 ニコン 様		6 ソニー 様		6 ソニー 様	
7 デンソー 様		7 川崎重工業 様		7 川崎重工業 様	
8 トヨタ自動車 様		8 ダイキン 様		8 トヨタ自動車 様	
9 セイコーエプソン 様		9 トヨタ自動車 様		9 ダイキン工業 様	
10 矢崎部品 様		10 三菱電機 様		10 オムロン 様	
トップ10社合計	9,989 32.5%	トップ10社合計	7,203 28.5%	トップ10社合計	7,737 28.5%
トップ20社合計	13,280 43.2%	トップ20社合計	9,737 38.6%	トップ20社合計	10,680 39.4%
その他	17,473 56.8%	その他	15,519 61.4%	その他	16,445 60.6%
合計	30,753 100.0%	合計	25,256 100.0%	合計	27,125 100.0%

※2013年12月4日 決算期修正

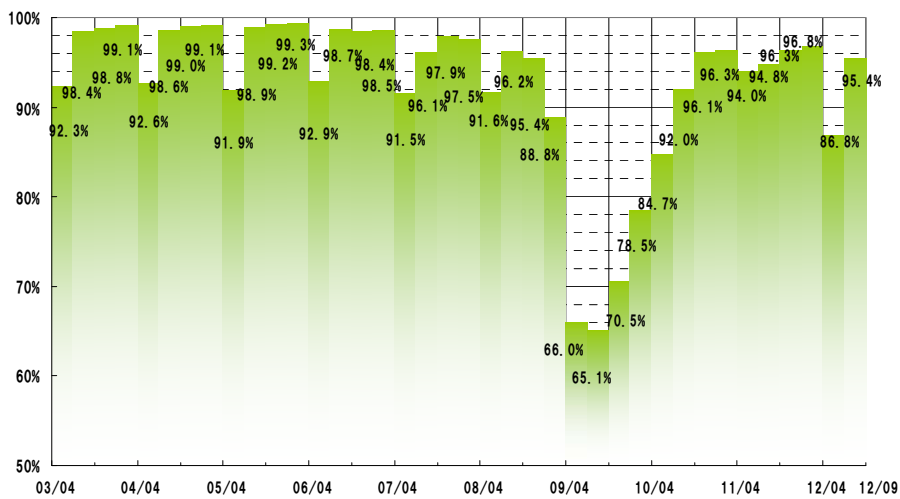
参考資料-4

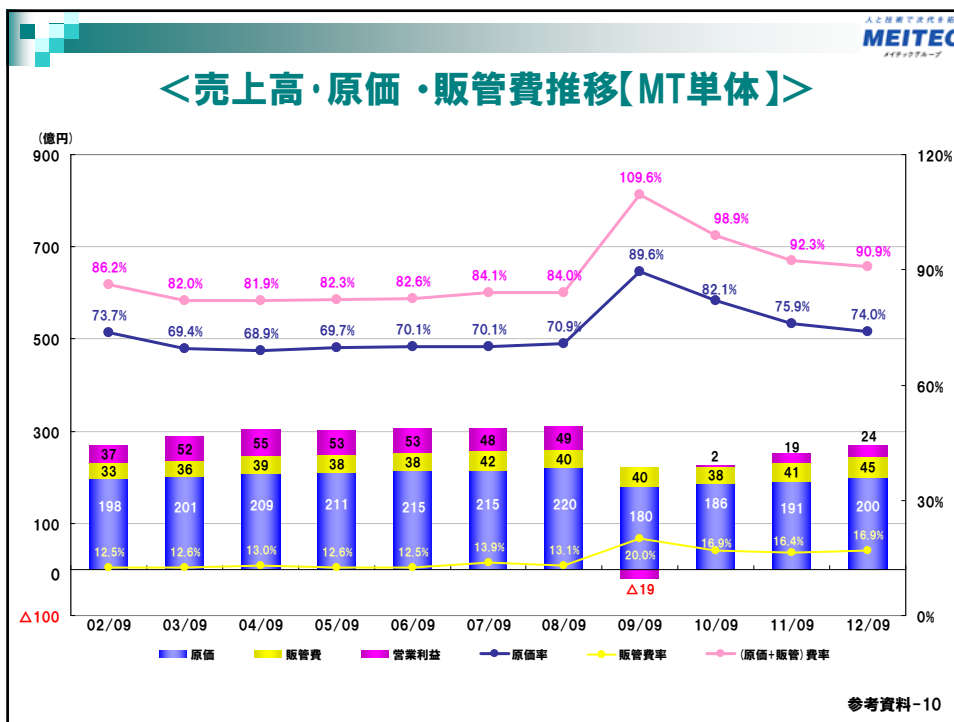
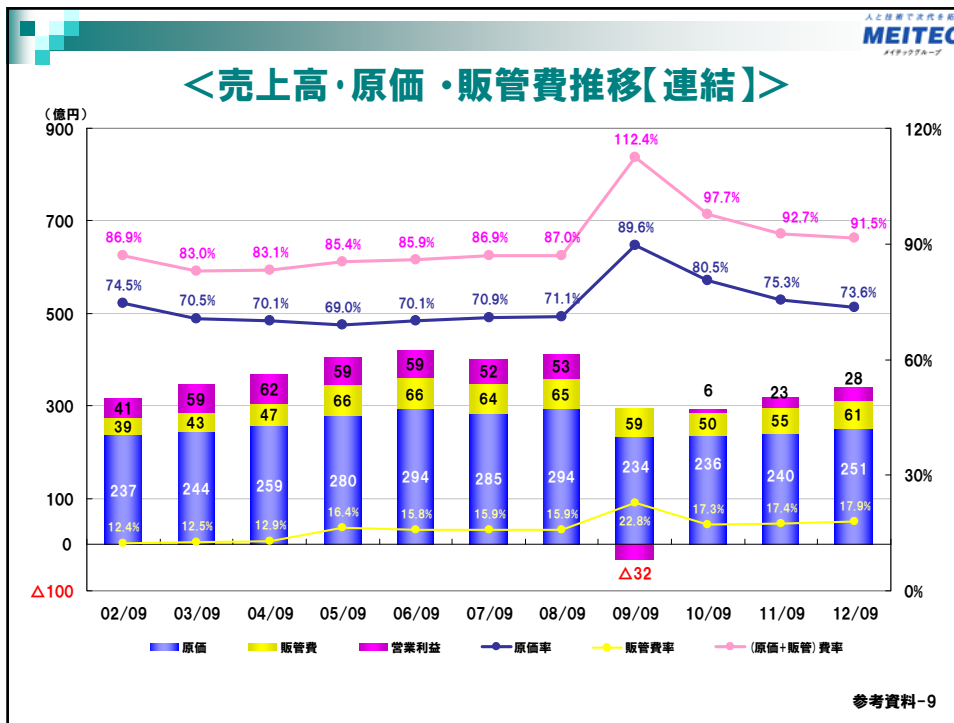


<稼働時間推移【MT単体】>



<稼働率推移【MF】>





<2011年5月改訂：利益配分に関する基本方針>

	従前	見直し後	
株主還元		総還元性向 100%以内を原則	変更あり
配当	業績連動型配当	連結当期純利益の50%以上	変更なし
	最低限の配当	連結株主資本配当率 (DOE) 5%	
自己株式取得	自己株式の取得 ワーキングキャピタル(月商2ヶ月)を上回る 資金は自己株式の取得に充当	自己株式の取得 月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式の 取得原資とする	変更あり
	継続保有 上限2百万株	消却 上限超を消却	変更なし

- ・中長期的に株主還元の最大化を目指す観点から、配当及び自己株式取得による株主還元額は総還元性向100%以内を原則といたします。
- ・月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル)：連結売上高の月商2ヶ月」
＋「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金)：連結売上高の月商1ヶ月」

参考資料-11

<株主セグメント別保有状況>

株主セグメント	2012年9月30日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	4	0.06%	882,401	2.54%
信託銀行	19	0.27%	6,346,000	18.29%
生保・損保会社	23	0.32%	4,215,883	12.15%
証券金融・その他金融会社	3	0.04%	17,860	0.05%
証券会社	33	0.46%	222,882	0.64%
事業会社・その他法人	116	1.63%	284,992	0.82%
外国法人・外国人	150	2.11%	16,773,318	48.34%
個人その他	6,767	95.11%	5,956,664	17.17%
合計	7,115	100.0%	34,700,000	100.0%

参考資料-12